



【久慈市防災危機管理課主催、小久慈市民センター共催事業】

防災教育事業 ～避難所運営体験～

皆さんは、日頃から災害時への備え、いざという時の備えをしていますか。万が一の災害対応について学ぶことを目的とし、避難所運営体験を実施します。いつ起こるか分からない災害への備えや避難所での過ごし方について、一緒に学んでみませんか。

- 【日時】 令和6年1月20日(土) 9:00から17:30
【場所】 小久慈市民センター体育室・研修室
【定員】 市内在住(高校生以上)40名程度
【募集】 令和5年12月15日(金)から1月12日(金)まで
【講師】 南三陸町観光協会
【内容】 オリエンテーション、避難所運営シミュレーション、避難所ミッション(昼食あり)、語り部講座、防災について
【申込】 1月12日(金)までに、小久慈市民センターまでお電話でお申込みください。
※ お申し込みの際、氏名、住所、生年月日、年齢、性別、連絡先をお伝え願います。



エゴマの刈り取り



じゅうね作付け3年目の苦勞

じゅうね研究会(未来づくり事業じゅうねチーム)
代表 大井 正信

エゴマ栽培が3年目になったじゅうね研究会、「今年こそ豊作を！」とスタートしたが見事失敗の連続でした。

5月のポットへの播種作業、昨年より早めに開始すればその後の成長も良くなり、収穫量も増加すると考えた。それが裏目に出て、播種後の低温でほとんど発芽せず、発芽率は10%以下であった。

これは、大変とばかり2回の蒔き直しでも思うように発芽せず、路地に直接播種したりして、ほとんど生育が遅れていった。

それでもわずかの苗を移植したりして、何とか1反歩の畑がエゴマの苗で埋まっていった。やっと苗が安定して生育してきたと思ったら、今度は記録的な酷暑！直播きした苗は雑草と同じくらいになり、草取りが必要となったが暑くて大変になり、早朝5時から6時頃まで数人の会員で草取り作業が行われた。その甲斐もあり8月下旬には何とか雑草に負けないエゴマに生育してきました。

やはり、エゴマも丈夫で10月には雑草とともに花を咲かせ、大きさは「まだら」ですが順調に生育してきました。10月21日、いよいよ収穫作業です。8名の会員が参加し全て手刈りで刈り取り、束ねて畑にあるハウスの中で約2週間乾燥させました。

11月3日は脱穀作業です。この日も8名参加で原始的な方法で行いました。まずエゴマの束を「まどり」でたたいて箱に種を落として集まった種を選別し、最後は唐箕に2回かけて完了です。エゴマの種子はとても小さく、唐箕の回し加減がとても大事で、下手に回せば種がみんな外に飛んでしまうからです。

いよいよ袋に詰めて計りに架けたら約15キロありました。昨年の半分以下ですが、みんな一安心でした。収穫皆無も覚悟したときもあったのでみんな大喜びでした。予定通り11月小久慈朝市でエゴマ油も販売することもできました。



唐箕を使い脱穀

皆が楽しんだ

4年振りの小久慈町民文化祭！

1. はじめに

今年の第51回町民文化祭は10月29日(日)開催され、コロナ禍で令和元年以来4年振りの開催となりました。

市民センターを中心に実行委員会を結成しましたが、役員、職員の異動もあり、4年前の資料を見ながらの取り組みとなりました。

また、各町内会では文化祭各担当への派遣や「芸能部門出し物」等、積極的に取り組み、女性部・体育文化部・老人クラブ等の各々が主要な担当部署を担い、来場者をお迎えする準備が整いました。

2. 昼の部(展示、販売) 9時～午後3時まで

(1) 屋外販売部門・包丁研ぎ

やまね未来づくり会からお馴染みの「軍配餅」、志奈子さんの「じゅうね餅」、なかやまさんの「デンガク」等が並び、午前中に完売しました。

「元祖：包丁研ぎ」はセンター玄関脇に構え、ベテランの研ぎ師が包丁を丁寧に研ぎました。依頼者も「切れ味」の良さに喜んで持ち帰りました。

(2) 室内展示、販売部門

体育室には「卓球台」、「机」そして「パネル板5列」を準備し、壁まで使って展示・販売です。体育室全体を使用した展示は、市内随一の規模です。

体育室に入ると「木彫りの鳥」(バードカービング)と1mもある「水車小屋」が目に入ります。そしてポーチなどの手芸作品、籐工芸、吊るし飾り、小久慈焼教室の作品展示などや小久慈焼、琥珀の出店、老人クラブ担当の「農産物即売」、女性部16名のこけ玉作り教室の「こけ玉」、紙粘土による可愛い「子犬や猫」、ベビーニット帽子、リックサック等数多く並びました。

パネルには小久慈保育園園児制作の「秋の風景」、幸町保育園児の「どんぐりの絵」、小久慈小学校の「習字・絵画」、長内中学校の「美術作品」「平庭のシラカバの行方」「クマの生態」、センター事業(あーとびる麦生 in 絵画教室)の作品、細かな細工の「切り絵」、絵画、写真、裂き織りの「ベスト」「手提げ」等時間を掛けて見て貰いました。

展示会場入り口では防犯協会スタッフが「交通安全・防犯」のポケットティッシュを500個配りました。大勢のご来場ありがとうございました。



小久慈

まちづくり通信

第85号

令和5年12月15日

小久慈まちづくり協議会広報委員会

久慈市小久慈町 21-47-14

小久慈市民センター

電話 59-3051

2頁記事

・小久慈町民文化祭

3頁記事

・第5回小久慈朝市

4頁記事

・避難所運営体験

・じゅうね栽培

(3) 食堂、喫茶部門 (女性部)

食堂部門は、コロナ禍が収束せず「学級閉鎖」等もありメニューを「カレー」と「おでん」とし、保健所の指導で前日調理のおでんは「低温管理 (冷蔵庫)」し、朝6時過ぎからセンターで煮込む等衛生管理に努めて提供、今回は前売り券の販売が無く数に限りはありましたが喜んで貰いました。

喫茶部門は1階ホールで手作りの飾り付けで雰囲気の良い喫茶となりました。「コーヒー」「かぼちゃまんじゅう」「サブレ」「あんドーナツ」「生どら」等を販売し、休憩スペースにもなり売れ行きも好調でした。



下日当町内会「きつねダンス」



琥珀町内会「グリーンロードの歌」

3. 「芸能部門」では 午後5時開会

午後3時から、体育室の展示部門の片付け・撤去を行い、ゴザを敷き芸能部門の準備を行いました。

開幕に、令和5年度青少年健全育成事業「あいさつ運動・ヘルメット着用」標語コンクールの入選者表彰式が行われ、入選14名に橋上健全育成会長より表彰状が授与されました。

次は小久慈小学校4年生の合唱「未来へ」です。

年度始めに文化祭が想定されていなかった事から、直接の出演が出来ず「DVD」での参加です。綺麗なハーモニーを聞かせてくれました。

次いで、主催者の鹿糠勇会長より「4年振りの文化祭をスタッフや来場者の皆様のご協力楽しく開催出来ました。昼の展示部門、食堂部門、そしてこれからステージ部門です。楽しい演目が揃っています。最後まで楽しんで下さい」とお礼の挨拶がありました。

いよいよ町内会・団体の出番です。今年は素晴らしい音量のカラオケも準備しました。

各町内会等による演目のジャンルは、唄 (カラオケ) 4題、踊り4題、ダンス2・大正琴・コーラスとバランスが非常に良いステージとなりました。

プログラムは10町内会・コーラスと女性部有志の出演でした。衣装の準備、体調管理や短い練習期間の中で、各町内会、団体の皆様のご協力により、素晴らしい楽しいステージ部門となりました。

大トリは女性部有志の皆様で「久慈溪流小唄」を踊り、引き続き八屋事務局長より「心配した天気もガマンして貰い、展示部門・演芸部門の全てに多くの皆様にご来場頂き、滞りなく開催出来ました。来場者の皆さんやスタッフの皆さんに御礼申し上げます。全ての行事を閉会します。ありがとうございました」と御礼し閉会となりました。

4. おわりに

5月8日からコロナウイルス感染症が2類から5類に移行された事をうけて、まちづくり協議会は「平時に戻して事業に取り組む」ことを確認し「敬老会」「文化祭」に取り組みました。

コロナ禍で「基本となる町内会活動」も「まちづくり協議会」の活動も4年間通常の活動が出来ませんでした。役員の交代もあり、各町内会等各組織が「立ち上がる事が出来るか」心配でしたが、敬老会や文化祭を町内の皆さんが楽しみにしている事から、役員、スタッフの皆さんも、楽しんで取り組んでいる事が感じられました。

実行委員会の積算では、来場者数は「昼の部550人」、「夜の部120名」でした。ご来場ありがとうございます。

概ねブランクを感じる事なく、各町内の皆さんの取り組みにより、大きな事業を成功裡に終える事が出来ました。改めて御礼申し上げます。(小久慈まちづくり協議会事務局長 八屋 勉)

大盛況 — 今年最後の朝市!

～540名の賑わいで大交流～



今年最後の朝市は11月19日(日)開催、地元出店者の皆さんに加え、十文字チキンカンパニー、久慈東高校の出店もありました。

今朝市最大のイベントは、小久慈小学校4年生の皆さんの合唱もあり、7時40分頃は受付前のゲートには来場者200名位が並び、45分受付と抽選会のスタートです。抽選後、会場の入場ゲートでお待ち頂き、7時55分開会セレモニーです。

今回の朝市のイベント

- \* 受付の抽選でプレゼント
- ・ 6個入れ玉子50パック
- ・ 100円割引券50枚
- 残念賞: ポケットティッシュ

・開会セレモニー

① 主催者を代表して鹿糠勇まちづくり協議会会長兼朝市チームリーダーより「今年最後の朝市となりました。今年も皆様のご協力朝市を全5回開催することが出来ました。御礼申し上げます。今年最後の朝市です。たくさんお買い上げ願います」と御礼の挨拶です。

② 開店宣言

小久慈小学校4年生の皆さんが来場者の皆さんの前に並び、代表して4名の児童により「これから第5回朝市を開店します。たくさん買い物して下さい」と大きな声で開店宣言です。

来場者の皆さんが約300人となり、一斉に馴染みの店に向かいます。

\* さあ朝市スタートです。

今年最後の朝市は常連出店者16店に加え、十文字チキンカンパニー、久慈東高校のシクラメンが加わり18店舗で、「田楽、新米他」「小麦団子、じゅうね餅」「自家焙煎コーヒー」「がんすき・ゆべし」「軍配餅」「焼き芋」「野菜、果物」「野菜、タルト」「鶏肉各種」「シクラメン」「小久慈焼」、そして、毎日クマが出没する中で守り抜いた「リンゴ」等が所狭しと並びました。

8時半頃には来場者は400人を越える賑やかさでした。

\* 小久慈小学校4年生合唱隊が出演。

8時30分から、朝市最大のイベント小久慈小学校4年生の合唱です、合唱隊24名が整列、曲目は「See you」(シーユー)です。

中公先生の指揮に合わせて、前奏に続き始めは小さな声で合唱の始まりです。次第に大きな声となり、綺麗なハーモニーを聴かせて会場を魅了してくれました。【写真下】

9時頃には来場者も少なくなり、出店者もお互いの店を訪問しての「買い物タイム」とし、9時15分には閉店準備開始としました。



ウクライナ支援募金集表

第1回	7月9日	756円
第2回	8月6日	1,450円
第3回	9月10日	888円
第4回	10月8日	1,391円
第5回	11月19日	2,183円
計		6,668円

ご協力ありがとうございました。

お餅やデンガク等予約のある出店者以外は店主の判断で「閉店」OKとし、今年最後の朝市を9時30分に閉店宣言しました。

最後の朝市はイベントが盛りだくさんで、総勢で540名の皆さんで交流出来ました。

来年も小久慈名物「小久慈朝市」を開催します。お楽しみにおまち下さい。